

# 99-36

## 問題文

尿酸合成に関わる酵素を選択的に阻害する薬物はどれか。1つ選べ。

1. コルヒチン
2. プロクローム
3. プロベネシド
4. フェブキソスタット
5. ラスプリカーゼ

---

## 解答

4

## 解説

選択肢 1 ですが

コルヒチンは、微小管タンパク質（チューブリン）と結合することで微小管の形成を阻害する薬です。これにより、関節炎症部位への好中球の遊走を抑制することで痛風発作を緩解します。尿酸合成に関わる酵素を選択的に阻害する薬物ではありません。よって、選択肢 1 は誤りです。

選択肢 2 ですが

プロクロームは、尿酸排出促進作用のある NSAID s です。抗炎症作用、抗リウマチ作用もあります。尿酸合成に関わる酵素を選択的に阻害する薬物ではありません。よって、選択肢 2 は誤りです。

選択肢 3 ですが

プロベネシドは、尿酸排出促進薬です。合成酵素阻害薬ではありません。よって、選択肢 3 は誤りです。

選択肢 4 は、正しい記述です。

フェブキソスタット（フェブリク）は、非プリン型キサンチンオキシダーゼ阻害薬です。キサンチンオキシダーゼという尿酸合成に関わる酵素を選択的に阻害します。

選択肢 5 ですが

ラスプリカーゼは、遺伝子組換え尿酸オキシダーゼです。点滴静注薬です。がん化学療法に伴う、高尿酸血症の治療に用います。合成酵素阻害薬ではありません。よって、選択肢 5 は誤りです。

以上より、正解は 4 です。